

会員の皆様へ 山形県農業委員会女性の会の 活動を紹介します！



「幸せな未来を農でデザインしよう」

里山ソムリエ
黒田三佳さん（米沢市）

山形県農業委員会
女性の会
からの

お知らせ

No.22

明日の活力になるような会を目指して！

発行：山形県農業委員会女性の会事務局
＜(一社)山形県農業会議＞
令和6年11月13日発行

北海道・東北ブロック女性農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を山形県で開催しました！

山形県農業委員会女性の会では、女性委員の活動等を紹介するお知らせを発行しています。
今回は、山形県農業委員会女性の会の活動をご紹介します。



ウェルカムドリンクプレゼントと
山形の女性委員の活動紹介の展示

デザインするとは？
「ひらめき」と「ときめき」を
自分事として行動すること！

令和6年9月3日、令和6年度北海道・東北ブロック女性農業委員・農地利用最適化推進委員研修会が、**山形県で開催**され、北海道・東北の女性委員や関係者244名が参加しました。（山形県からは76名が参加しました。）

女性委員が委員会で活発に活動出来るよう、地域（山形県）で活躍する人の話を聞き、知識や情報の共有と意見交換などを行い、それぞれ地元で楽しく豊かな委員活動の参考とすることを目的に、「地域農業の未来のためにできること～地域で活躍する人から委員活動のヒントを探る～」をテーマに開催となりました。

研修では、里山ソムリエの黒田三佳さんを講師に迎え、「幸せな未来を農でデザインしよう」と題して、講演が行われました。黒田さんからは、自身の取り組みについての話と共に、「幸せな未来を描けば、そこに人は集まってきます。農村地区に暮らしているということは、自分事として行動ができるということ。「農」で素敵な未来をデザインすることは、地球を持続可能にするパラダイムシフトから。それが出来るのは、その一番近くの存在は、今、目の前にいる皆さんです。」との話があり、会場は柔らかな空気に包まれ、参加者からも共感の拍手がおくられていました。



←当日お誕生日の方に
著書のプレゼント！

地域で活躍する人の話を聞き、今後の「楽しく豊かな」委員活動のヒントを探る！



「シカクい世界をまんまるく？
目指すは農業会の翻訳者？」

まんまーる
松本典子さん(鶴岡市)
農業委員



「地方創生と農業の未来
～持続可能な農業ビジネスの構築～」

アグリライフデザイン
井向隆文さん(尾花沢市)
農地利用最適化推進委員



「第一次産業の底力を
～農業の豊かさの追求～」

クダモノラクエン
生稲洋平さん(河北町)



事例発表では、地域で活躍する人として、県外から山形に魅力を感じ移住した3名に、それぞれの地域での取り組みについて発表していただきました。

そのうち、鶴岡市の農業委員(中立委員)であり、地域の野菜にこだわったピクルスの販売を手掛けるを松本典子さんは、「首都圏は別の国だと感じます。私たちの「あたりまえ」「日常」にこそ価値があるのです。その価値を求めている人がいます。私のやっていることは、もはや、自然を感じていない・わからない首都圏の人達への「自然」の「翻訳者」なのだと思います。」と話し、また、「うちのピクルスが美味しいのは、使っている野菜が美味しいから。世の中には、買い手が上な風潮がありますが、違います。農家さん達(の生み出している価値)はすごい！それをお伝えしたくてきました。」と思いを伝えました。

事例発表後には、出演者全員が参加し、女性の会の黒澤会長の進行で、意見交換と質疑が行われました。会場からは、「男性お二人に伺います。山形に移住して幸せはみつかりましたか？奥様の反応はいかがですか？私は逆の立場でとても気になります。」といった質問などもあり、和やかな雰囲気での意見交換となりました。最後に、司会の工藤副会長より「次回は北海道でお会いしましょう！」と挨拶があり、閉会となりました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました！

山形県では全ての農業委員会で女性委員が登用されています！

山形県の女性委員(農業委員・推進委員)は、令和6年5月現在、78名です。

山形県農業委員会女性の会は
次のステージへ！

令和2年12月25日に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」では、成果目標として、
「**農業委員会に占める女性農業委員の割合を早期20%、2025年までに30%を目指す**」としています。
山形県の女性農業委員の割合は、現在14.1%です。
女性委員の仲間を増やし山形県の女性委員の輪を一緒につくっていきましょう！

県内農業委員会の皆様へ向けて、情報発信したい女性委員や委員会の取り組み等がございましたら、ぜひ、女性の会事務局へご連絡ください。